

寄贈図書リスト

- ① 一般相対論の基礎から学ぶ 重力レンズと重力波天文学, 二間瀬敏史 梅津敬一 伊藤洋介, A5判, 320 ページ, 3,600円+税, 日本評論社

- ② 光学機械設計ハンドブック オプトメカニカルデザインの実用的手法, Paul R. Yoder, Jr. 著, 田邊貴大監訳, 菊判, 832 ページ, 20,000円+税, 森北出版

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日に締切り、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。ご投稿いただいた記事は、翌月初旬に一度校正をお願いいたします。

記事の投稿は、e-mailで toukou@geppou.asj.or.jp 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

人事公募

京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻（物理学第二分野）助教

- 募集人員：1名
- 勤務場所：
 - 京都大学大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻物理学第二分野宇宙線研究室
 - 京都市左京区北白川追分町
(変更の範囲) 大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
- 勤務内容：宇宙物理学に関する実験・観測的研究を行う。大学院・学部教育も積極的に行う。
- 資格等：博士号取得者（着任時までに取得見込みの方）、もしくはそれと同等の研究業績を有すること
- 着任時期：令和7年11月1日以降のできるだけ早い時期
- 任期または雇用期間：5年（再任あり）審査の上、1回に限り再任可。再任後の任期は2年。
(再任は、学術的業績、教育及び運営への貢献、社会的貢献、再任後の研究計画等を勘案して判断)
- 試用期間：あり（6か月）
- 勤務形態：専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）
 - 専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日8:30～17:15勤務（休憩12:00～13:00）、超過勤務を命じる場合あり休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
- 給与・手当等：本学支給基準に基づき支給

- 社会保険：文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
- 提出書類：
 - 履歴書（顔写真、e-mailアドレス、着任可能時期を明記）
 - 研究業績リスト
 - 主要論文3編以内
 - 研究業績概要
 - 着任後の研究計画（教育に対する抱負も含む）
 - 推薦書または意見書
- 公募締切：令和7年7月25日（金）23:59（JST）必着
- 選考方法：書類選考（*必要と判断した場合、セミナーをお願いする場合があります。）
- 書類送付先および問い合わせ先：
 - 書類送付先
京都大学大学院理学研究科
物理・宇宙物理学系学系系長 中家剛
電子メールにて
apply_at_scphys.kyoto-u.ac.jp 宛に pdf（最大サイズ20MB）を送付する（「_at_」を「@」に変えてください）。
Subject 欄は「宇宙線研究室助教」とし、ファイル受領の返信を必ず確認のこと。
 - 問合せ先：
京都大学大学院理学研究科
物理学第二教室 准教授 榎戸輝揚
電話：075-753-3858
e-mail:enoto.teruaki.2w_at_kyoto-u.ac.jp
（「_at_」を「@」に変えてください）
- その他：
 - ・本公募は、主に、理化学研究所と京都大学・理学研究科の共同研究「量子光科学プロジェクト」

トー先端的な量子光科学手法を用いた基礎的な物理学の諸問題の解決」に基づくものです。

- ・採用後は、物理・宇宙物理学系に所属し、大学院理学研究科物理学・宇宙物理学専攻において勤務していただきます。
- ・個人情報保護法に基づき、応募書類は採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。
- ・京都大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。
- ・本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。
- ・京都大学では教育・研究および就業と家庭生活との両立を支援いたします。
<https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp>
- ・出産、育児または介護により研究を中断した期間がある場合は、応募者の申し出により、研究業績の審査において考慮しますので、その旨を提出書類に記入してください。
- ・京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。
- ・京都大学大学院理学研究科は、研究活動におけるコンプライアンスに対する教職員や学生の意識の向上に努めています。

東京大学宇宙線研究所 助教

1. 職種及び公募人員：助教（テニュアトラック）1名
 2. 職務内容（専門分野）等：本研究所高エネルギー天体グループにおいて、主に高エネルギー宇宙物理学の理論的研究に従事することで、マルチメッセンジャー天文学を推進していただきます。グループメンバーと協力して成果を出していただける方、観測的な共同研究を視野に入れられる方を希望します。
- ※変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）
3. 勤務地：宇宙線研究所（千葉県柏市柏の葉5-1-5）

※変更の範囲：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）

4. 応募資格：雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みの者。性別・国籍・研究経歴によらず、広く関連する研究分野から活発な応募を期待します。
 5. 着任時期：決定後なるべく早い時期
 6. 待遇：給与は本学の規定に基づき経歴等により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入します。
 7. 任期：任期5年。着任後約3年間でテニュアトラック期間とし、3年近く経過した時点でテニュア着任の審査を行い、審査で認められれば任期なしに移行します。テニュアトラック期間は、研究予算100万円／年のスタートアップ支援をいたします。
 8. 就業日・就業時間：専門業務型裁量労働制により、1日あたり7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。
 9. 休日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
 10. 選考：選考委員会による書類選考（第一次審査）を行い、最終選考は、面接によります。（面接を受けていただく方には詳細を連絡します。）
 11. 応募書類：以下（1）から（6）までの書類をEメールに添付で提出してください。（7）の推薦書、又は意見書は、作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書の電子ファイル形式はpdfとします。（応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。）
- （1）履歴書（市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、電子メールアドレスを必ず記入のこと）
 - （2）研究歴（A4判で3ページ以内）
 - （3）業績リスト（論文リスト、研究発表リスト等）、及び主要論文（3編以内）。提出する論文については論文リストに印を付け、一目でわかるようにすること。
 - （4）着任可能時期
 - （5）着任後の研究計画（A4判で3ページ以内）
 - （6）学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰、行政処分及び懲戒処分にかかる申告書

(7) 推薦書又は意見書2通

※(6)については、以下URLから様式をダウンロードください。

<https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAAnP9ERAtf0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>

12. 応募締切: 2025年7月18日(金) 正午必着

13. その他:

(1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき、女性の応募を歓迎します。

(2) 外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから、このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。

(3) 試用期間あり(14日間)

(4) 受動喫煙防止措置の状況: 敷地内禁煙(屋外に喫煙場所あり)

(5) 産前・産後休暇及び育児休業による中断期間分を雇用延長することがある。(東京大学における教員の任期に関する規則第3条による。詳細は応相談)

14. 送付先: Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
(メールを送信する際は_at_を@に直してください)
メールの件名に公募番号の「ICRR2025-01」を明記してください。

15. 問い合わせ先: 東京大学宇宙線研究所 浅野勝晃
電話 04-7136-3187

Eメール asanok_at_icrr.u-tokyo.ac.jp
(メールを送信する際は_at_を@に直してください)

16. 募集者名称: 国立大学法人東京大学

東京大学宇宙線研究所 特任助教

【女性限定】

1. 職種及び公募人員: 特任助教1名

2. 職務内容(専門分野)等: 宇宙線研究所で行われている広い意味の宇宙線の実験的・観測的研究、あるいは理論的研究を本研究所教員とともに遂行して下さる方を広く募集します。

※変更の範囲: 配置換、兼務及び出向を命じることがある(意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。)

3. 勤務地: 宇宙線研究所(千葉県柏市柏の葉又は岐阜県飛騨市神岡町)

※変更の範囲: 本学の指定する場所(配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。)

4. 応募資格:

・雇用の時点で博士号を取得しているか、確実に取得できる見込みであること

※国籍・研究経歴によらず、広く関連する研究分野から活発な応募を期待します。

・女性であること

※東京大学は男女共同参画を推進しており、本公募では「男女雇用機会均等法」第8条の規定(女性労働者に係る措置に関する特例)に則り、女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。

5. 着任時期: 決定後できるだけ早い時期

6. 待遇: 「東京大学特定定期雇用教職員の就業に関する規程」(平成16年4月1日制定)に定める特任助教とします。同規程に基づき、給与は経歴により決定します。保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入、手当は通勤手当を支給します。

7. 任期: 雇用は年度ごとに更新し、最長で5年間とします。

8. 就業時間: 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分・週5日勤務したものとみなされます。

9. 休日: 土・日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

10. 選考: 選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い、最終選考は、面接によります。(面接を受けていただく方には詳細を連絡します。)

11. 応募締切: 2025年7月24日(木) 12時必着

12. 応募書類: 以下(1)から(6)までの書類をEメールに添付で提出してください。

(7)の推薦書又は意見書は、作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください。応募書類・推薦書・意見書の電子ファイル形式はpdfとします。(応募書類の提出に対しては、受信した旨の返信をいたしますので、必ず当方からの返信の有無を確認してください。)

(1) 履歴書(市販の様式相当、博士号の有無・取得見込み、電子メールアドレスを必ず記入のこと)

(2) 研究歴(A4判で3ページ以内)

(3) 業績リスト(論文リスト、研究発表リスト)

等), 及び主要論文 (3編以内). 提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること.

- (4) 着任可能時期
- (5) 着任後の研究計画 (A4判で3ページ以内)
- (6) 学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰, 行政処分及び懲戒処分にかかる申告書
- (7) 推薦書又は意見書2通

※ (6) については, 以下URLから様式をダウンロードください.

<https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAAnP9ERAtI0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>

13. その他:

- (1) 採用時点で, 外国法人, 外国政府等と個人として契約している場合や, 外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合, 外為法の定めにより, 一定の技術の共有が制限され, 結果として本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります. このような場合, 当該契約・利益については, 職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります.
- (2) 試用期間あり (14日間)
- (3) 受動喫煙防止措置の状況: 敷地内禁煙 (屋外に喫煙場所あり)
- (4) 受産前・産後休暇及び育児休業による中断期間分を雇用延長することがある. (プロジェクトの状況等による. 詳細は応相談)

- 14. 送付先: Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp (メールを送信する際は_at_を@に直してください) 件名に公募番号の「ICRR2025-03」を明記してください.

- 15. 問い合わせ先: 所長 荻尾彰一

電話04-7136-3100

Eメール director_at_icrr.u-tokyo.ac.jp

(メールを送信する際は_at_を@に直してください)

- 16. 募集者名称: 国立大学法人東京大学

東京大学宇宙線研究所 准教授

- 1. 職種及び公募人員: 准教授 (テニュアトラック) 1名
- 2. 職務内容 (専門分野) 等: 本研究所の高エネルギー宇宙線研究部門では, 研究グループ間の連携を進め, 高エネルギー宇宙線ならびにガンマ線の

観測的研究を推進していただける方を求めます. 本研究所で進めているテレスコープアレイ実験, チベット ASy実験・アルパカ実験の維持・運用・建設, 観測的研究において中核的な役割を担っていただきます. さらに, 国際ガンマ線天文台CTAOの大口径望遠鏡アレイの建設・運用を担い, 観測的研究を推進していただきます. これらの連携を通じて, 本部門の将来計画の策定・推進においても中心的な役割を果たしていただくことを期待します.

※変更の範囲: 配置換, 兼務及び出向を命じることがあります. (意に反して命じられることは原則ない. 詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による.)

- 3. 勤務地: 宇宙線研究所 (千葉県柏市柏の葉5-1-5)

※変更の範囲: 本学の指定する場所 (配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない. 詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による.)

- 4. 応募資格: 雇用の時点で博士号を取得していること
- 5. 着任時期: 定後なるべく早い時期
- 6. 待遇: 給与は本学の規定に基づき経歴等により決定します. 保険は文部科学省共済組合と雇用保険に加入します.
- 7. 任期: 任期5年. 着任後約3年間をテニュアトラック期間とし, 3年近く経過した時点でテニュア着任の審査を行い, 審査で認められれば任期なしに移行します. テニュアトラック期間は, 研究予算100万円/年のスタートアップ支援をいたします.
- 8. 就業日・就業時間: 専門業務型裁量労働制により, 1日あたり7時間45分・週5日勤務したものとみなされます.
- 9. 休日: 土・日, 祝日, 年末年始 (12月29日～1月3日)
- 10. 選考: 選考委員会による書類選考 (第一次審査) を行い, 最終選考は, 面接によります. (面接を受けていただく方には詳細を連絡します.)
- 11. 応募書類: 以下 (1) から (7) までの書類をEメールに添付で提出してください. (6) の推薦書又は意見書は, 作成者からEメールに添付で応募締切日までに提出してください. 応募書類・推薦書・意見書のファイル形式はpdfとします. (応募書類の提出に対しては, 受信した旨の返信をいたしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください.)

(1) 履歴書

(2) 研究歴 (A4判で3頁以内)

- (3) 着任後の研究計画 (A4判で3頁以内)
- (4) 業績リスト (論文リスト, 研究発表リスト, 外部資金獲得状況等) 及び主要論文 (5編以内). 提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること.
- (5) 着任可能時期
- (6) 推薦書又は意見書2通
- (7) 学生に対するセクハラ・性暴力等を原因とする過去の刑事罰, 行政処分及び懲戒処分にかかる申告書

※ (7) については, 以下URLから様式をダウンロードください.

<https://proself.icrr.u-tokyo.ac.jp/public/kv2cAAAnP9ERAtI0B4m-PaXyksfRZ0XTwTKCHopOB5XHB>

12. 応募締切: 2025年7月25日(金) 正午必着

13. その他:

- (1) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき, 女性の応募を歓迎します.
- (2) 外為法等の定めにより, 採用時点で, 海外との兼業や, 外国政府等からの多額の収入がある場合, 研究上の技術の共有が制限され, 本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があることから, このような場合, 兼業等については, 本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります.
- (3) 試用期間あり (14日間)
- (4) 受動喫煙防止措置の状況: 敷地内禁煙 (屋外に喫煙場所あり)

14. 送付先: Eメール application_at_icrr.u-tokyo.ac.jp (メールを送信する際は_at_を@に直してください) メールの件名に公募番号の「ICRR2024-15」を明記してください.

15. 問い合わせ先: 高エネルギー宇宙線研究部門主任 窪 秀利
電話04-7136-3136

Eメール kubo_at_icrr.u-tokyo.ac.jp (メールを送信する際は_at_を@に直してください)

16. 募集者名称 国立大学法人東京大学

る学術振興を目指し, 2023年度も引き続き下記の助成事業を行います. それぞれの応募要項の詳細は当財団のホームページ: <http://www.spss.or.jp> に掲載しています. それぞれの公募に対する応募申請に際してはホームページをご参照の上, 申請書をダウンロード・作成いただき必要な書類を添付のうえ, 財団宛に電子メール (admin@spss.or.jp) で申請ください. 奮ってご応募いただくようご案内申し上げます.

(1) 国際学会出席旅費の支援

●支援対象

宇宙理学 (飛翔体を用いた観測, 探査, 実験に関連する理学研究) および宇宙工学 (宇宙航空工学を含む) に関する独創的・先端的な研究活動を行っている若手研究者 (当該年度4月2日で35歳以下), またはシニアの研究者 (当該年度4月2日で63歳以上かつ定年退職した者) で, 国際研究集会で論文発表または主要な役割などが原則として確定している者. 海外で開催される国際学会に限りです. リモートでの参加の場合でも参加費 (上限5万円) については支援します.

●助成金額・件数: 一件あたり10~30万円程度, 年間10件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2025年8月31日: 2025年10月から2026年3月の期間に開催初日が予定される国際学会の参加者対象

応募締切り2026年2月28日: 2026年4月から2026年9月の期間に開催初日が予定される国際学会の参加者対象

(2) 国際学会開催の支援

●支援対象

宇宙科学研究を推進している国内の学術団体 (研究所, 大学等) で, 宇宙理学 (飛翔体を用いた観測, 探査, 実験に関連する理学研究) 及び宇宙工学 (宇宙航空工学を含む) に関する国際学会, 国際研究集会の国内開催を主催しようとする団体. リモートでの開催も支援対象です.

●助成金額・件数: 一件あたり20~50万円程度, 年間4件程度

●申し込み受付時期

応募締切り2025年8月31日: 2025年10月から2026年3月の期間に開催初日が予定される国際学会対象

応募締切り2026年2月28日: 2026年4月から2026年9月の期間に開催初日が予定される国際学会対象

研究助成

公益財団法人 宇宙科学振興会 2025年度助成事業2件公募のご案内

公益財団法人宇宙科学振興会は宇宙科学分野におけ

●照会先

公益財団法人宇宙科学振興会事務局

<http://www.spss.or.jp>

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1

Email: admin@spss.or.jp

Tel: 042-751-1126 (火, 木)

推薦のお願い**2025 年度（第 8 回）日本天文遺産候補推薦のお願い**

日本天文遺産選考委員会

日本天文学会では、歴史的に貴重な天文学・暦学関連の遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝え、その普及と活用を図ることをひとつの使命と考え、日本における天文学（以下、暦学も含む）的な視点で歴史的意義のある史跡・事物に対して日本天文遺産の認定を行っています。対象は原則として次のようなものになります。

- (1) 史跡・建造物：天文学上、重要であった地点や建築・構造物、観測施設など。
- (2) 物品：天文学上の重要な発見に関与する物品や天文学における歴史的意義が高い物品、観測機器や天文学研究に用いられた測定装置など。
- (3) 文献：歴史的意義のある天文学関連の文書類など。

認定された日本天文遺産の所有者等には、認定証および認定されたことを示すパネルまたは楯を贈呈します。これにより対象物の歴史的価値を広く世の中にアピールし、その保全への支援となることを期待しています。皆様からの推薦を参考に天文遺産選考委員会が候補を絞り、日本天文学会代議員総会にて決定します。

日本天文学会の会員（正会員及び準会員）の方々からの候補の推薦を、広く募集します。推薦書の様式は、以下の日本天文学会のサイトからダウンロードすることができます。なお、連名で推薦される場合は、推薦者全員が日本天文学会の会員である必要はありません。

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/designation/heritage/>
(日本天文学会/学会の活動/認定/日本天文遺産/推薦要領)

必要事項を記入の上、日本天文学会事務局（〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内／Fax: 0422-31-5487／Eメール: jimu@asj.or.jp）にお送り

ください。送付方法は郵便、Fax、電子メール添付のいずれでも結構です。現在の管理者・所有者に推薦した旨を連絡しておいていただけると幸いです。

2025年度の認定対象の発表と認定証贈呈式は、2026年3月の日本天文学会春季年会会場にて行う予定です。推薦は、2025年8月31日までに学会事務所へ到着したものを有効とします。候補に対しては必要に応じて現地調査を行います。なお「歴史的」とは長い年月を経ているという意味ではなく、長く後世に伝えていくべき価値を有するものと考えていただければと思います。なにとぞ多数の推薦をよろしくお願いいたします。

また、推薦された史跡・事物については、2025年度に日本天文遺産として認定されなかった場合でも、選考委員会において日本天文遺産候補リストに登録し、翌年以降の選考対象とします。このため、同一の史跡・事物を、翌年以降に重ねて推薦する必要はありません。ただし、推薦書記載の内容に変更がある場合は、再度の提出をお願いいたします。

編集委員会より**天文月報表紙デザイン案大募集！**

天文月報の表紙デザインは常時募集中です。毎年8月末日、一年間で集まった作品を対象に、次年度の表紙デザインを選考します。応募はプロ・アマチュア、会員・非会員問わずどなたでも受け付けます。

2026年1月号～12月号の表紙を飾る表紙の応募は、2025年8月31日締め切りです。

『天文月報』2026年表紙デザイン募集概要

作品掲載期間：2025年12月発行の119巻1号～2026年11月発行の119巻12号

- ・表紙は題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー画像および背景イラストから構成されます。
- ・題字とロゴマークは、原本のデータをダウンロードしてご使用ください。題字は元の文字が崩れない程度に、多少のアレンジをしても構いません。

題字: https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/geppou_title.jpg

ロゴマーク: https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/item/logo_J_black.eps

- ・すべての構成要素の配置を含めたデザインをお願いいたします。毎号異なる背景を12枚作成しても、

1つの背景を使い、配色や画像・テキストの配置を変えるデザインでも構いません。毎月異なるデザインの場合、応募時点で12作品を作成しても、サンプルとして1〜数作品を作成し、残りの号はコンセプトのみお送りいただいても、どちらでも構いません。

- ・具体例は過去の天文月報表紙をご覧ください。

天文月報のホームページのバックナンバー

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber/>

〈募集要項〉

- ・カラー：CMYK
- ・ファイル形式：不問
- ・雑誌のサイズ：B5判タテ（182ミリ×257ミリ）
- ・締切り：2025年8月末日
- ・送り先：天文月報投稿用アップローダー
https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/
ユーザー名：geppou パスワード：tougou
- ・表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプト（書式自由）をお送りください。

〈応募規定〉

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限ります。
- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
- ・採用された場合、作品の著作権については以下のように規定します。
*納品された表紙の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）は日本天文学会に帰属します。
*表紙に使用したオリジナル原画の著作権（著作権法21条から26条の3に規定する権利）は日本天文学会に帰属します。
*著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する場合は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。
- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報は、本要項による採用作品の通知のためのみに使用します。
- ・採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。
24万円／1年分

ご不明な点等ございましたら、ホームページお問い合わせフォーム「天文月報について」<https://www.asj.or.jp/jp/contact/>よりご連絡ください。

編集委員会より

ご挨拶

今期の天文月報の編集委員長という大役を仰せつかりました。私にとって天文月報は、様々な天文分野の最先端の研究に触れられる貴重な情報源でした。さらにこの10年は天文学の発展に関わる歴史的資料にもなるオーラルヒストリーも継続的に掲載され、その価値は天文学の域を超えつつあるように思います。

分野関連系の重要性が叫ばれる中、天文月報が今後もますます天文学の裾野を広げていけるよう、努めていきたいと思っています。

日下部展彦（アストロバイオロジーセンター）

はてさて、自分はどれだけ編集作業に貢献できているのだろうか、あるいは2年前に「執筆者の個性を活かす編集を心がける」と書いたのは単に編集作業をサポートしているだけではないのか、と自問したりしなかったりですが、引き続き編集委員を努めさせていただきます。

岡本文典（国立天文台）

一期目は、専門とする超長基線電波干渉計（VLBI）や巨大ブラックホール分野に加え、超新星爆発や星形成といった多岐にわたる記事を担当させていただきました。学会員に読んでいただくことを念頭に、文章を推敲する難しさと面白さを知り、多くの学びを得ました。二期目はVLBI関連の記事をより一層充実させる所存です。

小山翔子（新潟大学）

2期目の志達です。X線連星の観測的研究を専門としております。1期目には、特集やシリーズ物なども含め様々な記事を担当させていただきました。編集の仕事や他分野の研究成果など、多くのことを学びました。幅広い読者の皆様に楽しんでいただける魅力的な天文月報になるよう、企画や編集の仕事を通じて貢献できればと考えております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

志達めぐみ（愛媛大学）

2期目の編集委員を務めさせていただきます。鈴木です。

毎月の打ち合わせでの編集委員長の段取りの良い進行には頭が上がりません。

また、すべての原稿に目を通し、原稿の進捗状況の把握、編集委員の作業締切の管理、印刷所とのやり取りや日程調整までやっていただいている事務方のお二人に、すべての読者に代わって感謝申し上げます。引き続きよろしくお願いいたします。

鈴木大介（大阪大学）

月報編集委員2期目となります。太陽・恒星を中心に観測データ解析や数値計算による研究に取り組んでいます。1期目は単独記事をいくつかと「ひさき」特集号を提案、担当しました。ようやく仕事に慣れてきたところですが、2期目もより魅力ある雑誌にできるよう、引き続き貢献していきます。よろしくお願いいたします。

鳥海森（ISAS/JAXA）

編集委員として活動する中で、自身の専門（X線を用いた天の川銀河の観測と装置開発）以外の研究成果にも多く触れ、天文学の幅広さと奥深さ、そして著者の皆さまが研究に注がれている多大な努力と熱意を、改めて実感しています。

2期目も、より良い記事をお届けできるよう、微力ながら貢献してまいりたいと思います。

信川久実子（近畿大学）

月報編集委員2期目です。専門は遠方銀河の観測研究ですが、委員の仕事を通じて幅広い分野の記事に楽しく関わらせていただくことで、私自身の視野も広がりました。今後もこれまでと同様に、幅広い読者の方々に楽しんでいただける記事の作成に貢献したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

橋本拓也（筑波大学）

編集委員2期目となります宮本です。1期目を振り返ると特集号や自分の専門以外の分野の記事についても担当し楽しく仕事をさせていただきました。2期目も読者の皆様にわかりやすい雑誌をお届けできるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

宮本祐介（福井工業大学）

今期より編集委員を拝命いたしました。系外惑星から黄道光に至るまで太陽系内外の天体に興味を持ちながら、装置開発を専門として研究しております。編集委員として自分自身も天文学、あるいはその研究成果を伝える術を学ぶべく活動してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高橋葵（ISAS/JAXA）

今年から委員を務めさせていただきます、ハワイ観測所の田中と申します。私の天文学キャリアの出発点に天文月報が存在しており、それは他の多くの方も同じだと思います。若者に研究という世界へさらに深くいざなうきっかけとなる様な記事を、世に送り出せたらいいなあと思います。微力ながら、何かお手伝いできれば幸いです。

田中 壱（国立天文台・ハワイ）

今期より編集委員を務めることになりました谷川です。星団の力学進化、コンパクト連星の形成理論、数値シミュレーション、コンパクト連星の探査などを専門としております。専門外の読者の方にとってわかりやすい記事を提供できるよう努力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

谷川 衝（福井県立大学）

今期より編集委員に加わることになりました。学生時代の専門は星惑星形成の観測的研究や赤外線装置開発ですが、現在はプラネタリウムで、天文学の幅広い話題を解説しています。天文月報は最新研究を日本語で読める貴重な雑誌で、職場でも大変重宝しております。天文教育に携わる者として、他分野やアマチュアの方にも魅力が伝わる記事を届けられるよう尽力したいと思えます。

中島亜紗美（名古屋科学館）

今期より編集委員を務めることになりました福島です。私の専門分野（星・惑星形成）も含めた、多くの天文学に関する話題について、分かりやすい記事を読者の皆様にお届けできるように頑張りたいと思えます。

福島 肇（筑波大学）

今期より編集委員を務めさせていただくことになりました、藤澤です。中性子星や白色矮星などの高密度天体を中心に、回転や磁場を伴っている星を研究しています。回転や磁場があるものは大体好きです。ふとページをめくった時に、偶然目にした記事を読んでみたら予想外に面白かった、というのが雑誌ならではの魅力だと思っています。読者のみなさまと天文月報の記事との、素敵な出会いをお手伝いできるように、精一杯努めてまいります。

藤澤 幸太郎（東京工科大学）

今期より編集委員を務めさせていただくことになりました。専門は観測的宇宙論で、現在まですばる望遠

鏡Hyper Suprime-Camを使った宇宙論解析を行ってきました。様々な分野の読者の方、またプロ・アマチュア・学生を含む幅広い読者の方楽しんでいただけるよう編集に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

宮武広直 (名古屋大学)

今期より編集委員となりました国立天文台の守屋堯です。超新星爆発の研究を専門としています。これまで天文月報の記事から多くのことを学ばせていただきましたので、多少なりとも恩返しができたらと思っています。特に若い世代の方々が読んでためになるような天文月報にできたらと考えています。よろしくお願いいたします。

守屋堯 (国立天文台)

訃 報

会員の木暮智一氏は2025年5月22日に逝去されました。満98歳でした。

木暮氏は当学会で、1979～1981年に副理事長、1989～1991年に理事長に就任されたほか、欧文研究報告編集顧問や評議員などを務められました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

会員の田原博人氏は2025年5月30日に逝去されました。満88歳でした。

田原氏は当学会で、2001～2002年に理事長に就任されたほか、欧文研究報告編集委員・編集顧問、年会開催地担当理事、評議員などを務められました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

天文月報 118巻8月号 主な掲載予定記事

アストロバイオロジーセンター10周年特集 (2): アストロバイオロジーセンターでの装置開発【小谷隆行】 近赤外線分光観測とアストロバイオロジー【平野照幸】 極限環境と藻【小杉真貴子】

天球儀: 高速電波バースト (Fast Radio Bursts) の起源を明らかに—台湾BURSTTの紹介【後藤友嗣, 橋本哲也, 正岡滉翔】

〈シリーズ〉天文学者たちの昭和: 日江井榮二郎氏ロングインタビュー [第5回] 日食観測 (1)【高橋慶太郎】

〈シリーズ〉海外の研究室から: 成熟してきた台湾の天文学【松下聡樹, 大橋永芳】

編集委員: 日下部展彦 (編集長), 岡本文典, 小山翔子, 志達めぐみ, 鈴木大介, 高橋葵, 田中壱, 谷川衝, 鳥海森, 中島亜紗美, 信川久美子, 橋本拓也, 福島肇, 藤澤幸太郎, 宮武広直, 宮本祐介, 守屋堯

令和7年6月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円 (本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487

振込口座: 郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店 (普) 4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: toukou@geppou.asj.or.jp

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2025年 (本誌掲載記事は無断転載を禁じます)